

# SDGs 宣言書

2024年2月16日  
株式会社 大原屋コミュニケーションズ  
代表取締役 尾澤 章

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

## 社会貢献・地域貢献

取組テーマ： 飲食業を中核に、交流人口の増加及び地域内コミュニケーション活性化に取り組みます

### <具体的な取組内容>

- 魅力的な商品提供、SNSによる情報発信により、地域外から飯田市へ訪れるきっかけ作り。
- シェアオフィス事業を活用したライフプランセミナー等の企画・開催による金融リテラシー向上への貢献。
- 地元食材の活用、地域イベントへの参加、観光地「大平宿」の維持管理による地域活性化への寄与。
- 災害時、地域への食料提供の準備、体制整備。（レトルト商品備蓄、キッチンカーの整備）

### <関連のあるゴール>



## 環境

取組テーマ： 事業活動から発生する環境への負担を可能な限り低減させます

### <具体的な取組内容>

- 環境負荷の少ないパッケージの開発、活用。
- 商品ロス削減のため容量見直し、メニュー改善及び適正在庫の維持。
- テイクアウト用付属品（スプーン、ビニール袋等）に対し環境配慮型商材の継続利用。
- 照明のLED化及び空調機器、調理機器（オープン、食洗機等）の環境配慮型製品への順次切替。

### <関連のあるゴール>



## 製品・サービス

取組テーマ： より多くのお客様へ、品質にこだわった商品を安定して提供します

### <具体的な取組内容>

- 商品レシピのマニュアル化による品質の安定性確保。
- 信州味噌や地元食材を用いた、健康的なメニューの提供。
- 早朝営業（朝7時開店）、レトルト商品のラインナップ拡充等、幅広いお客様への商品提供。

### <関連のあるゴール>



## 人権・労働

取組テーマ： 最適なワークライフバランスを実現し、健康で生き活きたした労働環境を目指します

### <具体的な取組内容>

- 商品開発や多角的な事業へ取り組む時間を確保するため、店舗営業日数及び営業時間見直しに向けた業務効率化。
- 健康経営を意識した事業運営。
- 働きやすいフレキシブルな労働時間の実現。

### <関連のあるゴール>

